

執筆者紹介（掲載順）

執筆者 ①所属と職位、②専門分野、③主な担当科目、
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

高柳 真理 ①語学教育センター兼留学生別科 助教
②日本語教育、CLIL
③統合日本語Ⅰ、統合日本語Ⅱ、統合日本語中級、分野別日本語（進学）
④「2022年度新設科目『統合日本語』の授業内容を振り返る—CLILとして、講義コマとして—」単著、『城西国際大学紀要』第31巻第2号、2023、「ARCSモデルの考え方を取り入れた『日本文化研修』の試み—学習者の学習意欲向上と日本文化研修の教育の向上を目指して—」単著、『JIU日本語教育実践報告集』第5号、2024他。『あなたの弱点が分かる！日本語能力試験N1模試×2』（株）ユニコム、2013年（共著）他。城西国際大学の日本語教育で使用されている教科書作成の取り組み、また、2022年より山武市の外国人児童生徒のための日本語支援、特に日本語アセスメントに関する取り組みがある。

佐藤 明子 ①語学教育センター 助教
②日本語教育、日本語教育文法
③Fundamental of Japanese、Advanced Japanese Skills、Japanese Project Education、異文化コミュニケーション、日本文化研修
④多文化共生における情報伝達、及びコミュニケーションのツールとして「やさしい日本語」（2022年度城西国際大学コミュニティカレッジ秋講座）講座の開講や「初級日本語教科書で文法項目はどのように紹介されているのか—継続動詞テイルの『使い方に』注目して—」（2022年第60回日本語教育方法研究会）など、実践研究に取り組んでいる。2022年より山武市の外国人児童生徒のための日本語支援に携わる。

羽鳥美有紀

- ①語学教育センター 助教
- ②ビジネス日本語、留学生のキャリア形成、ビジネスマナー
- ③ビジネス日本語
- ④ [共著]『おもてなしの日本語 心で伝える接遇コミュニケーション 基本編』アスク出版 (2020年)。[単著]「外国人留学生の人材育成における一考察—ホスピタリティ業界に従事する外国人社員の振り返りを通して—」(『城西国際大学大学院紀要第23号、2020年)。『日本で働くための本一就活生から社会人まで—』アスク出版 (2021年) など。[その他] ビジネスマナー講師として日本と中国で活動。主な実施先として、中国遼寧省外事弁公室 (LIAONING FOREIGN AFFAIRS OFFICE) などある。また、2022年より山武市の外国人児童生徒のための日本語支援に携わる。

本城美和子

- ①語学教育センター兼留学生別科 助教
- ②日本語教育、多文化共生、CLIL
- ③日本語基礎、日本語初級、日本語初中級、日本語中級、日本文化演習、日本語試験対策講座、基礎ゼミ
- ④「中級レベルにおける受容から産出への取り組み—学んだ知識・語彙を意見の理由づけとして使用し話す活動—」JIU日本語教育 実践報告集創刊号 (2020年)「CLILと技能別学習を融合させた総合活動—日本語初中級クラスを例に—」JIU日本語教育 実践報告集4号 (2023年) など、初級～中級レベルの口頭産出活動の実践研究に取り組んでいる。また、2022年より山武市の外国人児童生徒のための日本語支援に携わる。

Dunstan Henderson

- ①語学教育センター 助教
- ②Generative pre-trained transformer (GPT) fine-tuning、Python programming language、Information communication technology (ICT)、TESOL
- ③Fundamentals of English I、Oral Fluency I、Oral Fluency III、Basic Writing Skills I、Basic Writing Skills III、Intermediate Practical Discussion Skills I
- ④Dunstan Henderson is an assistant professor at the Center for Language Education My research includes the development of artificial intelligence tools for language classrooms and the promotion and use information communication technology in university courses.